

## 平成 24 年度北栄町議会議員研修報告書

北栄町議会議員 前 田 正 雄

・ 日 時 平成 24 年 7 月 18 日 (水) ~20 日 (金)

・ 調査地 滋賀県湖南市・長野県飯田市

・ 調査内容

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 障がい雇用の促進について | カルビー・イートーク (株)   |
| 2. 発達支援システムについて | 湖南市健康福祉部 社会福祉課   |
| 3. メガソーラ施設見学    | メガソーラいいだ         |
| 4. まちづくりについて    | (株) 飯田まちづくりカンパニー |

・ 調査結果

### 1. 障がい雇用の促進について

カルビー・イートーク (株) は、カルビー株式会社の特例子会社で、重度障害者を多数雇用している事業所で従業員 23 名中 13 人が障がい者である。

\*業務状況は、障がい者と健常者と全く区別がつかない作業状況で箱詰、選別、検査等の作業工程が行われており、障がい者の事業所とは思えない雰囲気を感じた。

\*障がい者が自立して生活するためには、就労することが何よりも不可欠であり、生き活きと働ける職場づくりに邁進されている事業所であった。

### 2. 発達支援システムについて

障害のある人がいきいきと生活できるための支援システムとして湖南市が平成 14 年から開始した。

支援の必要な人に対し、乳幼児期から学齢期、就労期まで、教育・福祉・保険・就労・医療の関係機関の横の連携による支援と、個別の指導計画による縦の連携による支援を提供するシステムである。

\*障がい者がいきいきと安心して生活するために支援対策を、行政のみならず市全体で支援している湖南市の独自の取り組みに感銘をうけた。

### 3. メガソーラ施設見学

飯田市と中部電力（株）との共同実施により建設、平成23年1月より運転開始。

開発規模・1,000kw

年間発電量・一般家庭300世帯分の年間使用電力に相当

CO2削減量・年間400トン程度

開発敷地面積・約1.8万㎡

\*飯田市の山頂を開発造成した位置に建設されておりめぐまれた日射量を活かしたメガソーラである。

\*積雪防止のためか？除雪のためか？ソーラーパネルのパネルのスペースが十分とってあった。山頂であり冬場の積雪による発電量の低下が懸念される。

\*説明者が無人でも良く解る見学コースが設けてあり説明パネルも設置され、誰でも自由に見学できるよう配慮されていた。

### 4. 飯田市のまちづくりについて。

#### (株)飯田まちづくりカンパニー

市民が誇りの持てる街に再生しようと、同じ思いを持つ市民、商店、企業を中心となって出資し、行政からも協力を得て設立した市民資本の第三セクターのまちづくりの総合支援会社である

平成10年8月に設立。資本金2億1200万円

\*昭和22年の飯田大火後、市の中心市街地の真ん中に中学生が「自分たちの手で美しい街をつくろう」と植樹したリンゴ並木を中心的なまちづくりのシンボルとして市民が思いを寄せリンゴ並木まちづくりとして、4月から11月まで毎月歩行者天国を開催しイベントを実施している。

\*大火後、街の復興に当時の中学生の抱いたリンゴ並木に寄せる思いを変わることなく現在まで受け継ぎ、市民全体が街づくりに歩みつづけている姿、これが住民参加で造りあげた真の街づくりであると感じた。